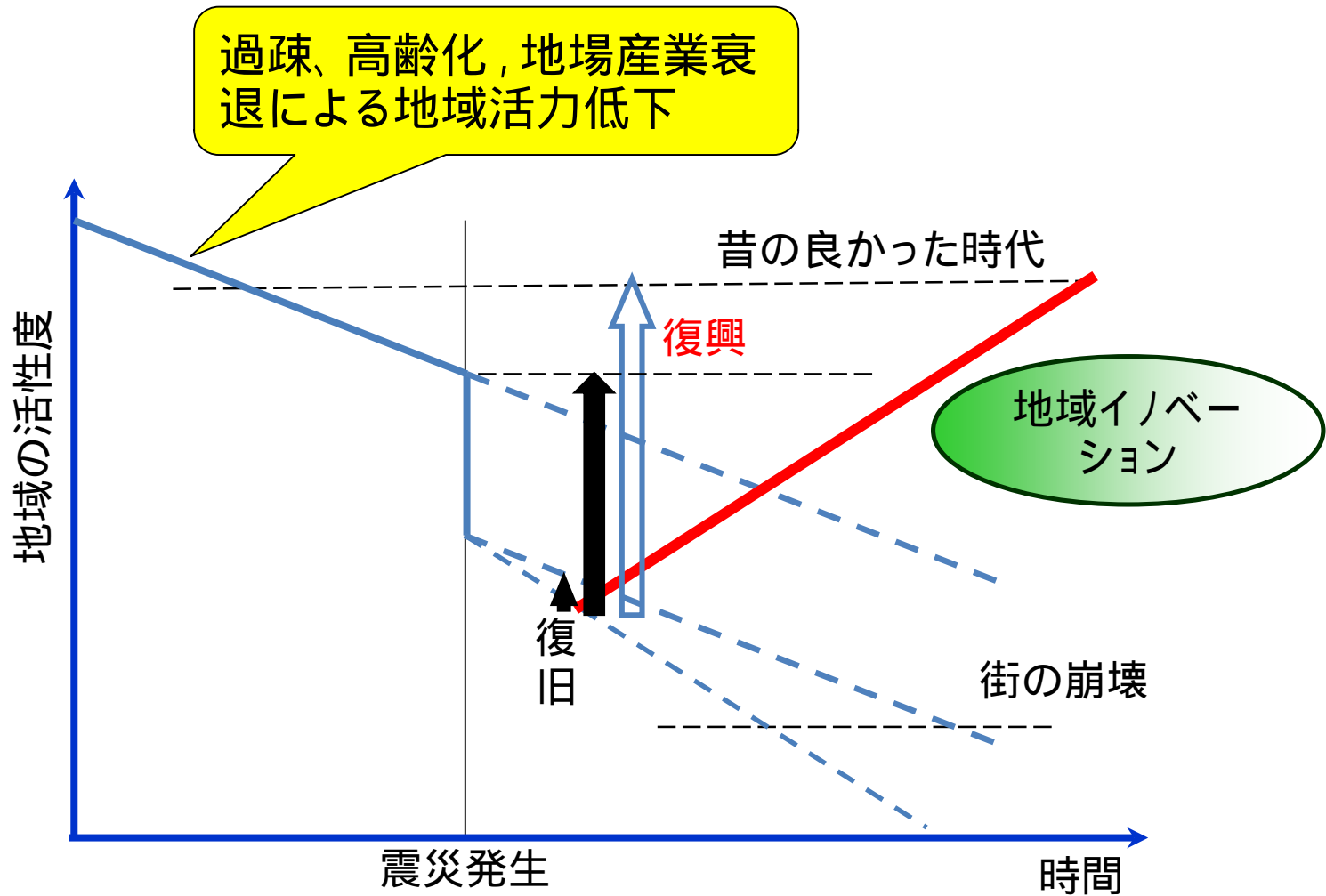


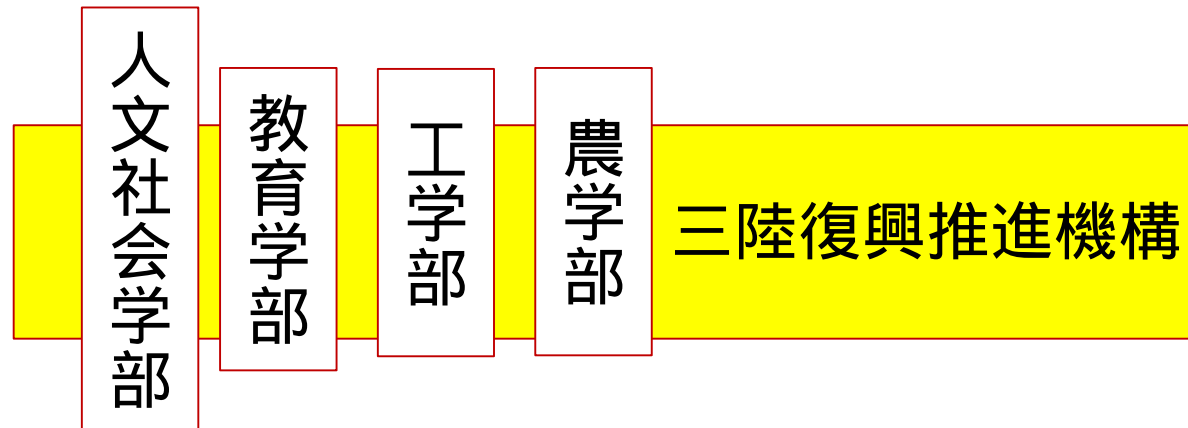
## 2. 復興活動の総括

我々は、震災・震災復興を経験し、そこから

何を教訓とし、  
それをどのように教育・研究に活かしていく  
のか!?



## 震災復興は学部間の融合活動



- \* 教育・研究における深化と俯瞰力
- \* 復興は地域課題そのもの

復興の取組みを新たな教育・研究に昇華

# 岩手大学の水産関係組織

## 震災 水産の復旧 水産の復興



何とかしなくちゃ  
 農学部110年の歴史であっても、  
 大変!

H25 水産研究センター

H28 農学部:水産コース(20人)

H29 大学院地域創生専攻:水産コース(5~10人)(改組予定)

従来の水産学部, 学科とは異なったコンセプト

- ・MOFF (Management of Fishery and Foods)
- ・アカデミックよりも, 水産業支援
- ・6次産業化を担う



水産業のイノベーションを興す

U 産業支援: R&Dの戦略

「今日の100円, 明日の1,000円, 明後日の10,000円」

# 学部改組 (H28)

## 大学院改組 (H29予定)

- ・ 1 研究科構想
- ・ **地域創生専攻**の設置

○これまでの「三陸復興推進機構」の活動を教育研究に活用 ← **国連防災会議**(仙台H27.3)

○従来の専門深化に対し

総合的, 俯瞰できる技術者 → **地域を先導する人**

○グローバルな視点

### 第3期の地域連携

大学の知や取組みを活用して

- ・ グローバル化
- ・ スポーツ・芸術
- ・ 生涯教育

## 3 . 復興活動から地域創生へ

# 最近クローズアップされた課題：地域創生

地方の共通課題：少子高齢化  
過疎化



限界集落

大震災により、沿岸地域の上記課題が顕在化

復興庁：復興過程（モデル）は日本の共通な「解」

岩手県 **復興**  
「人口減少対策」  
大学進学率



大学が如何に関  
わるか？

140万人(1980) → 128万人(2014) → 100万人(2040?)

どうしたら地域に定着させられるか？

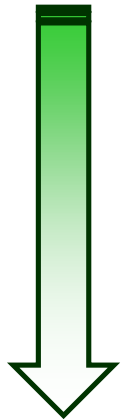


何が満たされれば地域に定着したいか？

地域全体でほしい人  
材を育成する



## 地域の活性化



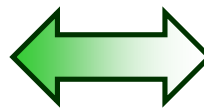
負のスパイラルを切る

優秀な人材の確保

地域イノベーション

「地域定着」の課題は大学のみでは不可能

地域



大学

地(知)の拠点整備事業[COC & COC+事業]

COC : Center of Community

COC事業: 地域と創る“いわて協創人材育成 + 地元定着”プロジェクト

COC + 事業: 「ふるさといわて創造プロジェクト」

県の産学官全体で連携

企業者には

「本気で卒業生を確保するために、何をすべきか？」

を考えてもらう

ü企業の知名度

üインターンシップの受入れ

ü地域課題研究での課題提案

ü積極的に確保 (*残りものを下さい*ではない)

我々は、震災・震災復興を経験し、そこから  
何を教訓とし、  
それをどのように教育・研究に活かしていくのか!?

- ・電気依存 (ITが使えない)
- ・自動車依存 (ガソリンがない)
- ・人間の絆 (コミュニティの価値)



これまでの技術開発は利便性・快適性の追求

新たな科学技術の追求

- ・自然科学 (工学) と  
社会科学 (経済的, 社会学的)  
人文科学 (哲学)  
との融合した



イノベーション

## 地域イノベーション

- ・経済活動のみか
- ・文化・生活様式までも変化
- ・技術とそれを担う人

都会での就職

地方での就職



価値観の変化

経済的指標から新たな  
豊かさ指標の創造

# これからの地域連携

## 地域課題に積極的に貢献

1st 共同研究 (Seeds-oriented)

2nd 共同研究 (Needs-oriented)

3rd 地域と協創

4th **地域を先導**

大学の知を結集して →

- ・安全・安心確保
- ・産業振興
- ・生涯教育
- ・スポーツ・芸術
- ・グローバル化
- ・男女共同参画
- ・環境問題

三陸復興・地域創生推進の拠点形成（平成28年度設置予定）  
-課題先進地をフィールドとした地域創生モデルの構築と地域創生型人材の養成-

岩手大学三陸復興・地域創生推進機構

実践領域

震災復興活動・地域貢献の  
実践力&課題解決力の推進

「まちづくり」



「ひとづくり」



「しごとづくり」

教育研究  
領域

地域特性を活かした4つの教育  
研究センターによる専門領域の  
教育・研究の推進

地域防災研究部門  
(地域防災研究センター)

平泉文化研究部門  
(平泉文化研究センター)

三陸水産研究部門  
(三陸水産研究センター)

ものづくり技術研究部門  
(附属融合化ものづくり研究センター)

目標

課題先進地をフィールドとした地域創生モデルの構築。教育研究の成果を地域創生専攻等に反映させ、持続可能な地域社会の創生を目指す

連携

県・自治体・公設試等

## 4. まとめ

## ○地域の課題は世界の課題

Activityの源は人(量・質)

人を如何に確保するか

定着を促す **新しい価値観**の創造

大学が如何に貢献できるか?

ü 従来の都市志向から地方(岩手)志向へ

ü 経済的指標よりも豊かさ指標(自然, 気候, 人間性, 広さ(密度)...) )



復興推進活動を通し、  
地域の課題に取り組み、  
地域からイノベーションを生み、  
その成果を世界に発信！

地域の大学の責務



ご静聴ありがとうございました

